

南っ子



令和7年度学校だより9月号
9月8日発行
延岡市立南小学校 No10
文責：校長 甲斐憲一

運動会の練習！

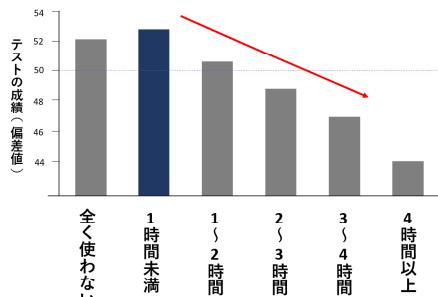
朝夕は少しづつ風も吹き、少しは暑さも和らいでできていますが、日中はなかなか気温も下がらず、運動するには少し適さない状況です。しかし、10月の運動会に向けての練習が始まりました。体育館には扇風機や簡易クーラーを設置しながら熱中症にも留意し、表現運動の練習が行われていました。2年生は神田先生の動きをまねしながら、一生懸命に踊っていました。みんなとても上手ですね。ダンスを習っている子どもたちが多いものもありますが、意外と素早く覚えることができる子どもたちには驚かされます。これから練習も増えてくるとは思いますが、規則正しい生活に心がけ、体調を整えながら練習に励んでほしいと思います。特に朝食をしっかり食べてこないと運動する元気もでませんので、朝食をしっかりと摂らせて学校に送り出してください。



【練習に励む2年生】



スマホ等の使用時間と学力の関係



※対象は2017年度の小学5年～中学3年 約4万人、成績は4科目（国、算・数、理、社）の偏差値



スマホの影響について

スマホの使いすぎは学力に悪影響を及ぼすという調査結果があるということは皆さん知っているでしょうか？脳機能研究の第一人者であり、スマホと学力との関係を追究している東北大学の川島隆太教授が宮城県の仙台市の小中学生を対象に調査を行って、わかったことです。

右のグラフからわかるように、スマホを使う時間が長ければ長いほど成績が下がるということがわかると思います。勉強していてもスマホ時間が長ければ、全く勉強しない子どもよりも成績が悪くなるということもわかっています。

スマホを含むネット漬けの子どもほど、思考や創造のほか、人の気持ちを理解したり、場の空気を読んだりするような高次なコミュニケーションをつかさどる脳の前頭前野を中心に、発達していないこともあります。しかし、時間を短くして改善すれば、脳も成長することもわかっていますので、中毒にならないようしっかりと保護者は管理していくことが大切です。買って与えるんであれば、しっかりと管理することも親としての責務だと思います。いろいろな情報にも目を向けながら、よりよい子育てをしていってほしいと思います。特に食事をするときにはスマホをしないなど、家族共通のルールなどを決めることも大事だと思います。

スマホ使いすぎると「勉強が台なしに」 脳トレ・川島隆太教授がデータで解説参照
<https://www.asahi.com/thinkcampus/article-101101/?msockid=2093a0829ec567481abdb5309f1766a2>